

武藏国

幡羅郡  
下奈良村

吉田家文書目録

吉田家文書目錄目次

江戸……………頁

町触、米価元直調、町屋敷沽券用留、  
地代・店賃、湯株・髮結床株、金銀勘  
定、仕切書、家普請、普請金貸附

下奈良村……………頁

其他……………頁

武蔵国 幡羅郡 下奈良村 吉田家文書

(文書記号 26R)

江戸

町 触

竹姫君様利根姫君様御入輿之節町触并御道筋見廻り書付 享保一四・二〇	半	一冊	叁
竹姫様利根姫様御入輿之節書留写 享保一四・二〇	半	一冊	叁
(種姫君様御結納之節出役其外取計書留写) 天明三	半	一冊	叁
仏寺町触 寛政一〇・天保二	半	一冊	叁
三ヶ年米価高直貧民御救御趣意右類例一件諸書留 天保四一六	半	一冊	叁
(米価高直ニ付被仰渡之儀御請連印一札) 天保六半	半	一冊	二七
(米価高直ニ付町触写并類例書留) 天保八	半	一冊	八
御改革御趣意御触写并棄捐相對濟御触 天保一二一四	半	一冊	八
市中御改革御触写 天保一二一四	半	一冊	八
猿若町芝居操渡世者共之被仰渡請証文写 天保一三	半	一冊	叁
日々草 天保一三一五	半	一冊	叁
(銭相場下直ニ付町触) 申一二月	半	一冊	三七
(札差欠所ニ付浅草建家土蔵并地面六ヶ所御扨町触) 酉正月	半	一通	三六

(御役屋敷御家中之由申町方にて如何敷儀有之節御取計被下ニ付町々名主御請連判証文) 堺町葺屋町木挽町新吉原町分共 天明七 半 三冊 克七 克七

米価元直調

天保酉年米価売捌元直取調帳 吉田市右衛門 天保八 半 一冊 叁

町屋敷沽券用留

(安針町上田喜平次屋鋪諸書留) 家城久右衛門 享和三 半 一冊 咒

安針町・鍋町町屋鋪沽券用留 文政六 半 一冊 舌

通油町町屋鋪沽券用留 (文政七) 半 一冊 舌

通油町川口利兵衛町屋鋪書物 文政七 美 一冊 壹

(通油町川口利兵衛町屋鋪永代売渡証文控) 文政七 美 一冊 美

(溜屋おこう持分沽券証文写) 文政九 半 一冊 壹

通油町永代買請候町屋敷書物 文政一〇 半 一冊 元

地代・店賃

地代店賃上リ高井町入用書上 安針町名主後見 助右衛門 天明五一寛政元 半 一冊 哭

地代書上之写 安針町分 寛政二 半 一冊 哭

東都安針町地割牒 吉田市右衛門 享和三 横長半 一冊 哭

町入用掛り高書附 安針町分 寛政三 半 一冊 哭

所々御地面上リ高控 御本家宛 文政三十八 横美半 五冊 哭

十三ヶ月分町屋鋪納高控 沽券代吉田久兵衛 文 半 一冊 一四

(通油町表田舎間拾間地割図并地代銀差引書上) 家主伝右衛門外 文政九 一通 七

御地面上り高月、附立 御本家宛 天保五 横長美 一冊 六

馬喰町地面四年上り高并普請金目録 沽券代吉田久兵衛 天保九 半 一冊 六

○ 勘定目録

地代店賃勘定目録 吉田久兵衛 文政一三 天保一二 横美半 九冊 一

地代店賃勘定目録帳 吉田久兵衛 天保四 一 二 横美半 八冊 二

○ 地代請取通

地代請取仮通 加藤宛 文政七 横美半 一冊 八

地代店賃請取通 文政一 横美半 一冊 九

地代金請取通 相模屋平助宛 天保四 横美半 一冊 二〇

○ 地代店賃滞

地代店賃不納立替帳 龜島町吉田久兵衛支配新助 天保九 半 一冊 三

地代滞控帳 御本家宛 天保九 半 一冊 三

金兵衛欠落并清次郎地代滞願諸入用 嘉永五 半 一冊 元

(通油町佐七地代滞ニ付訴訟入用控) 家主徳次郎 嘉永六 横美半 一冊 四

(巳午未年地代不納分控) 一綴 三

○ 地代店賃引下

町奉行所々厚御趣意被仰出候ニ付地代店賃直下但地代四分店賃ニ割定式納坪数取調書 吉田久兵衛 天保一三 横美半 二冊 二

地代店賃定式帳 吉田市右衛門宛 天保一三 横美半 一冊 三

下調御趣意ニ付地代店賃勘定仕上帳 天保一三 横美半 一冊 三

町屋敷地代店賃取集之内町入用引金地地主手取書 上 沽券代吉田屋久兵衛 天保一三 半 一冊 三

町屋鋪沽券証写并地代店賃上り高之内ニ町入用公役銀七分積金家守店引之金地地主手取金書上写 吉田市右衛門 天保一三 半 一冊 元

(市中町々地代店賃引下方書上被仰出ニ付達書留) 天保一三 半 一冊 三

地代引下ケ控 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 室町二丁目分 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 小網町三丁目分 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 弥兵衛町分 天保一三 半 一冊 三

地面間数沽券金上り高書上 安針町分 天保一三 半 一冊 三

安針町分地代店賃引下ケ家主ヨリ書上控 天保一三 半 一冊 四

御支配之者町御奉行支配之町屋鋪改届向之書類 吉田市右衛門 天保一三 半 一冊 六

湯株・髮結床株 文政四辛巳年分地代店賃藏敷湯株髮結株船板上錢取集勘定帳 文政五 横美半 一冊 七

御地面・家賃・湯株・床株・藏鋪上り高書抜控 文政九 横美半 一冊 四

地代・店賃・湯株・床株毎月上り高控 文政一〇 横美半 一冊 五

湯株滞一件天保八年江都出訴在宅相達書物類 天保八一 九 半 一冊 六

(久兵衛八郎右衛門他相手取湯株ニケ所出入濟口証文写) 天保九 半 一冊 六

金銀勘定

勘定目録 吉田会所 天保七 半 一冊 元

金銀差引目録帳 御本家宛 天保七 横長美 一冊 三

仕切書

仕切書 吉田久兵衛 御本家宛 戊三―五月 半 二冊一通 四

仕切書 岩城屋平吉 吉田市右衛門宛 天保九 半 一冊 三

家普請

本家普請中飯米代金書抜外日々草諸用帳 文政一二―一三 半 一冊 三

(江戸町屋敷類焼場普請諸入用帳) 文政一二・天保五 半 一冊 三

(山王様御地面御長家新規建仕様書) 小泉屋茂兵衛 天保一〇 半 一冊 三

通油町抱屋鋪四ヶ所類焼場焼土取方附并諸普請清帳 弘化二 半 二冊 三

大地震江戸地面土蔵長屋其外とも震崩損シ所繕普請御在所々諸職人被遣諸式送り日々取調附立帳 安政二 半 一冊 三

普請金貸附

普請金貸附書抜 (文政一三) 半 一冊 三

本家分ニ文政十一年々普請金貸附書抜 (天保二) 半 一冊 三

下奈良村

○ 助郷・用水助成

荒川通武州忍領玉井堰大麻生堰諸色代助成差出 金御貸附之儀伺書 御勘定所宛 文政九 半 一冊 三

名主市右衛門外卷人差出金貸附取計方向書 御勘定所宛 文政一二 半 一冊 三

仁手堰矢島堰拾六ヶ村自普請所助成御貸附願之儀ニ付伺書 御勘定所宛 文政一二 半 一冊 三

(熊谷宿助成金積立願一件書留他) (文化五―天保二) 美 一冊 三

(太井村新宿村大芦村榎戸村熊谷宿代助郷御伝馬御受印帳写) 道中奉行宛 天保七 半 一冊 三

(奈良堰外三堰用水ニ付騒立候始末書送候案書) 河野啓助宛 天保八 半 一通 三

(馬喰町御用屋敷御貸附金御仕法替仰出書留) 天保一四 半 一冊 三

(馬喰町御用屋敷御貸附金仕法替ニ付触并日光道中宿々受書他) 天保一四 半 一冊 三

馬喰町御用屋敷御取扱御貸附金半高乘捐被仰出ニ付右御組込有之助成金歎願之書類 奈良堰用元弥七郎 天保一四 半 一冊 三

中仙道熊谷宿御伝馬助郷組合村々助成金歎願向内稿 御奉行所宛 天保一四 半 一冊 三

利根川通御田堤自普請所組合村々諸色代助成金之儀ニ付歎願書内稿 御奉行所宛 天保一四 半 一冊 三

(吉田市右衛門上納仕御貸附金利足熊谷宿助郷助成として御下ヶ願并頂戴覚) 天保一五 半 一冊 三

(御貸附御仕法替ニ付助郷并備前堀他用水組合助成金御利足被下歎願書) 弘化元―二 半 一冊 三

(熊谷宿助郷他ニ付米原喜代吉書状) 吉田市右衛門外三人宛 一通 三

根岸肥前守様御掛り上奈良村一件御吟味控 文化三 半 一冊 三

(根岸肥前守様御呼出上奈良村一件留) 文化三 半 一冊 三

(冥加酒上納御褒ニ付柳生主膳正ノ御呼出之節指紙并差上書類扣) 文化六 一冊 六  
 武蔵国幡羅郡地誌調書上 文政五 一冊 六  
 (妻沼村聖天宮開帳之節催之次第下知状齟齬御札ニ付御憐愍願上書) 吉田左五郎宛 天保七 一冊 三

寛永廿貳年下なら地帳 正保二 美 一冊 七  
 相統講金取立帳 金主佐右衛門 文化一三 横美半 一冊 六  
 (質物預金并利足上り金高控) (文政七一九) 半 一冊 六  
 証文控 文政八 美 一冊 五  
 (越石出作等ニ付認置覚) 天保四 半 一冊 二

其他

御伝馬助郷一件・山県大ニ一件写 明和三・四 半 一冊 七  
 信州浅間山其外変事一件訴書実正之書付写 天明三 半 一冊 三  
 信州御嶽山講本明院一心外五人之被仰渡写 文政四 半 一冊 六  
 (武州小曾根村安太郎ノ奈良新田村藤助外之相懸り質地取戻出入御吟味之上請書被仰付写) 文政二 半 一冊 三  
 家相師田辺静馬之被仰渡写 天保三 半 一冊 三  
 武蔵国野原村曹洞宗文珠寺惠憐被仰渡写 天保三 半 一冊 三  
 (武州小曾根村名主竜蔵ノ百姓幸吉之相懸り本家相統方ニ付願吟味詰之上御伺御下札を以双方被仰渡写) 天保三 半 一冊 三

(上州川俣村外一六ヶ村之者共徒党いたし同國須賀村吉五郎外二人宅を打毀候一件仰渡并御請証文) 天保三 半 一冊 三  
 (武州町場村徳次郎無宿源次郎差置候一件仰渡并御請証文) 天保四 半 一冊 三  
 (武州上川上村林蔵女房まき林蔵と口論之上疵付逃去同人相果候一件書留) 天保四 半 一冊 三

(上州八木沼村百姓儀兵衛外二八人平塚村跡惣治外五人之者高岡村藤七所持之畑小作致し党を結び小作滞等ニ付御取締方響ニ相成連印一札) 関東御取締出役宛 天保四 半 一冊 二  
 (上野国勢多郡水沼村星野七郎右衛門宗門御改帳) 天保四 半 一冊 二  
 (日光道中幸手宿之者打壞及狼藉御吟味之上仰渡書留) 天保四一六 半 一冊 二  
 (酒井雅染頭家来山本九郎右藏門敵討一件) 西丸御小納戸鶴藤吉之亟 天保六 半 一冊 二  
 鈴ヶ森ニ而仙石左京捨札之写 天保六 半 一冊 三  
 仙石一件落首書付并封廻状之写 天保六 半 一冊 三  
 (仙石一件落首ニ付申渡一件三冊入御覽候書状) 吉田市右衛門外宛 半 一通 二  
 (米穀積送并先きもの商い不相成ニ付御証文写) 御本家宛 天保六 半 一冊 二  
 (米穀積送り不相成ニ付仰渡) 天保六 半 一冊 二  
 (一ッ橋民部卿徒士川崎宿ニおいて鍋島城主松平肥前守関札抜取乱暴ニ及候一件) 天保七 半 一冊 三  
 (一ッ橋徒士川崎宿にて肥前守関札抜取ニ付獄門申付其他写) (天保七) 半 一冊 三  
 (武州西野村与四郎儀無株にて酒造ニ付仰渡御請一札) 天保八 半 一冊 三  
 (大坂表大塩騒動ニ付鳴屋左右衛門并京屋弥兵衛方之参候書状写) 天保八 半 一冊 三

(大塩平八郎檄文写) 天保八 半 一冊 一三

(西御丸并御本丸炎上其他記事留) 天保九・一五 半 一冊 一五

去年五月廿日以來町々米屋其外打壞及狼藉候者  
共御仕置奉伺候書付下書 申二月 半 一冊 一三

町々米屋其外打壞及狼藉候者共申渡 申三月 半 一冊 一六

邪宗門一件科人捨札案 半 一冊 一六

(市谷田町老丁目三左衛門娘まさ一件見分書并  
口書) 未六月 半 一冊 一〇

市谷田町老丁目三左衛門娘まさ一件御答奉伺候  
書付 申三月 半 一冊 一〇

市谷田町老丁目三左衛門娘まさ外老人御仕置附  
之儀申上候書付 申三月 半 一冊 一〇

(若者共ニ付仰渡) 子五月 半 一冊 一〇

諸寺院取締之儀ニ付諸触頭之申渡書写 丑二月  
月 半 一冊 一一

寛明日記 六十七 (明曆大火記) 明曆三 半 一冊 一七

(伊豆国遍田浦船難舟始末見聞記) 天保三 半 一冊 一三

救飢松皮製法 礫川老人 天保四 半 一冊 一四

附(日本実業史博物館旧蔵)

金銀出入帳 吉田市右衛門 文化二 横美半 一冊 一三

三井高維菟集史料

酒方歳々勘定帳 吉田市右衛門 安政六・文政二 一冊 26R 三五

其他